

## 大宮工業・浦和工業新校基本計画検討委員会（第3回） 議事録

1 日 時 令和5年10月19日（木） 午後3時開会  
午後3時45分終了

2 会 場 県立大宮工業高等学校大会議室

3 出席委員 栗藤委員長、野辺副委員長、櫻井副委員長、中出委員、宮崎委員、  
吉村委員、山崎委員、菊池（弘）委員、万沢委員、鈴木委員、  
山口委員、宿谷委員、菊地（優）委員、井野委員、鯨井委員、  
大場委員、石井委員、小林委員、手島委員、遠井委員

4 事務局 魅力ある高校づくり課 中島、坂本、高辻、橋本

5 協 議 「大宮工業・浦和工業新校（仮称）基本計画（案）」について

栗藤委員長 それでは次第2、協議に入ります。本日の協議に当たって、資料の概略を説明いたします。前回までの本委員会での協議及び新校準備委員会での意見を踏まえ、事務局にて、【資料1】大宮工業・浦和工業新校（仮称）基本計画（案）を作成しました。本資料が最終的に新校の基本計画（案）となっていく予定ですので、御承知おきください。本日の委員会における協議と、この後開催が予定されている新校準備委員会での意見を頂戴した後、教育委員会での報告や教育長の決裁を経て、正式に策定してまいりたいと考えています。なお、前回お示しした新校基本計画骨子（案）については、資料1の中に溶け込ませております。両委員会等を経て修正した箇所については、（参考資料1）大宮工業・浦和工業新校基本計画骨子（案）修正一覧に記載していますので、適宜御参照いただきたいと思います。それでは、【資料1】大宮工業・浦和工業新校（仮称）基本計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （大宮工業・浦和工業新校（仮称）基本計画（案）のうち概要、1 策定に当たった基本姿勢、2 基本的枠組み、3 校名について説明）

栗藤委員長 はい。それでは、先ほど事務局と打合せをさせていただきまして、全体を四つのパートに分けて協議をお願いしたいと思っております。今、説明がありましたのは、1から3までの最初のパートということです。では、御意見、御質問等がありましたら、お願いいたします。

宮崎委員 大宮工業高校の宮崎です。学科名、学科ごとのクラス数ですね、現場の人間にしてみれば、すごく重要なことです。前回の会議では、いろいろと意見を述べさせていただきました。恐らく、いろいろなことを考えてこのような形になっているのかと思います。ですので、御検討いただきましてありがとうございました。現

場の人間としては、これから、この学科、このクラス数に相応しい教育課程等を考えていきますので、その点についても、何かしらの御支援をいただければと思います。今後とも、よろしく願いいたします。

栗藤委員長 ありがとうございます。他にございますか。このパートは、本当にたくさん御意見が出てきたところですので。基本的には、今日を最後の委員会にしたいと考えております。ですので、ここで全ての項目を固めて、次の、最後の準備委員会に送り、そこで、概ね良いだろうという話になれば、これを県の教育委員会の方に報告し、教育長の決裁という方向に回っていきますので、言い残しが無いようにと思っております。よろしいでしょうか。野辺副委員長、お願いします。

野辺副委員長 大宮工業高校教頭の野辺でございます。まずは、この案の方を作成いただきましてありがとうございます。今回御提案いただいている案では、クラス規模が8クラスということになっております。現在は7クラスということですが、いろいろな会議での意見や要望等があって8クラスということになったのかと思います。現在の7クラスから8クラスになるということで、教室の配置ですとか、あとは、先生方の職員室の人数も増えると思います。そういったことも、是非、今後御配慮いただければと思いますので、その辺もどうぞよろしく願いいたします。

栗藤委員長 ありがとうございます。教育局としましては、この計画を策定しましたら、これを実現させるべく、最大限の努力をしてみたいと考えております。それ以外で、御意見や御質問はございますか。よろしいでしょうか。前に戻ってということであれば、最後にそういった時間を取りたいと思いますので、まずは先に進めたいと思います。本日は90分の時間を予定していますが、協議が円滑に進めば、その時点で終了と考えております。では二番目のパートについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 (大宮工業・浦和工業新校(仮称)基本計画(案)のうち4 基本理念、5 教育活動等の基本方針(1)基本姿勢及び(2)教科指導、6 教育活動等の基本方針の具現化(1)教科指導について説明)

栗藤委員長 はい。二つ目のパートということで、本体の計画(案)から離れて、記載としては(参考資料1)、こちらが前回までの議論を踏まえ、対比しやすいということで、そちらの資料の5ページまで説明がありました。ここの部分につきまして、御意見や御質問等がありましたらお願いします。どの項目もそうなのですが、基本的には、この検討委員会の中で出された御意見、それから、もう一つの準備委員会、地域のステークホルダーの皆さんからのお声、そういったものを踏まえた修正でございます。あとは、事務局の方で学校と相談をしながら、一部、文言を整理したところもございます。それらを踏まえまして、御意見や御質問がありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、先に進みます。三番目のパートについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 (大宮工業・浦和工業新校(仮称)基本計画(案)のうち5 教育活動等の基本方針(3)生徒指導、(4)進路指導及び(5)生徒募集、6 教育活動等の基本方針の具現化(2)生徒指導、(3)進路指導、(4)生徒募集及び(5)その他について説明)

栗藤委員長 はい。三番目のパートということで、参考資料1の6、7、8ページの説明がありました。こちらのパートについて、御意見、御質問等がありましたら、お願いします。よろしいでしょうか。それでは、最後のパートに移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局 (大宮工業・浦和工業新校(仮称)基本計画(案)のうち7 開校準備、8 対象校における教育活動、9 教育環境の整備、10 付随する事項について説明)

栗藤委員長 はい。最後、四番目のパートについて説明がありました。ほとんど第1期の基本計画に倣った形になっていますが、改めて目を通していただいた上で、何か御意見、御質問等がありましたら、お願いいたします。まずはこの四番目のパートについてお願いします。ここに書かれていることは、この先、学校がいろいろと準備をしていく、決めていく、いろいろな関係機関等と調整をしていくといったことが書かれている部分がありますので、何か不安な点等があれば、お願いします。よろしいでしょうか。それでは、最初にも言いましたが、前に遡ってでも、もう一度ここを聞いておきたかったといったことがあれば、是非、全体を振り返る時間としたいと思います。どのパートでもどの部分でも結構ですので、御意見、御質問がありましたら、お願いします。はい、それでは中出委員、お願いします。

中出委員 大宮工業高校の事務部長の中出です。本日新たに御説明いただいた内容の中で、何点か疑問がございましたのでお伺いいたします。まず、7の開校準備のところなのですが、こちらの(2)に、公文書等の保管及び諸証明書の発行ということで書かれております。こちらには、対象校が保管する公文書等については、新校が引き継ぐ。統合後の各種証明書の発行は新校が行うということなのですが、この引継ぎ事務について、本校は引継ぎを受ける側で、浦和工業高校は引き継ぐ側なんですけれども、こういった事務に係る調整というのは、各学校間で、例えば、具体的には事務室なりあるいは教務の先生方が中心になって相互でやっていくということなのか、あるいは魅力ある高校づくり課に何らかの御協力をいただけるのか、イニシアティブを取っていただくとか、そういったことはやっていただけるのでしょうか。

栗藤委員長 事務局の方からお願いします。

事務局 はい。来年度以降に、新校開設委員会ということで、大宮工業高校と浦和工業高校の両校で新校開設委員会を立ち上げていただいて、魅力ある高校づくり課も可能な限り協力していきたいと思います。その中で、総務部会ですとか、いろいろな部会を立ち上げて、その中で細かい内容は詰めていただければと思いますので、その中で両校で話し合って、どのように引継ぎをしていくのか決めていただければと思います。その中で魅力ある高校づくり課もサポートできればと考えております。令和6年度以降、新校開設委員会で決まっていくものかと思っております。

中出委員 承知しました。ありがとうございました。

栗藤委員長 かつてのいきいきハイスクール構想のときなどでは、例えば卒業生の方からの問合せが、割と教育局の方に入ってきました。卒業証明書の発行はどこでできるのですかといった問合せ、学校が閉じているわけですので、浦和工業高校の卒

業生からのそういった問合せが想定できるかと思えます。そういった問合せについての御案内などは、教育局の方でもやります。本日出席していただいている、県立学校人事課の方でも、そういったことについては、学校をサポートするということをしておりますので、決して学校が孤立することはないと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。他、いかがでしょうか。山口委員、お願ひします。

山口委員 浦和工業高校の山口です。細かい話で大変申し訳ないのですが、3ページの5 教育活動等の基本方針の(3)生徒指導について、少し気になってしまった点がありました。まず、生徒指導なので、対象は高校生かと思うのですが、アは生徒を育成する、イは社会人として、ウも生徒を育成するという文言があるのですが、高校生は社会人なのか、それとも高校を卒業した後の話をしているのか、対象をどういうふうに考えているのか気になってしまいまして、生徒指導という項目なので、生徒と統一するか、社会人としてというのもすごく大事なので、順番をウに下げていただいて、卒業後は、というのが分かるようにするなどしていただいた方が良いのではないかと思いました。

栗藤委員長 ありがとうございます。事務局からいかがでしょうか。

事務局 はい。基本方針と具現化を揃えているところもありますので、うまく、今いただいた御意見を踏まえて最後、調整をさせていただければと思えます。貴重な御意見、ありがとうございます。

栗藤委員長 では、そのような形で対応させていただきますので、よろしくお願ひします。他、いかがでしょうか。委員長からで恐縮なのですが、前半の学科関係では質問等がなかったので、事務局の方から説明する機会を逸してしまっているのですが、工業系の学科の学科名に工学を付けたねらい、それから、情報系の学科については学科名を情報サイエンス科とした理由を、皆さんにお伝えしておいた方が良くと思っております。どうですか。事務局の方から、なぜ工学で揃えているのか、それから、最終的に情報系の学科を情報サイエンス科とした理由を説明していただけますか。

事務局 まず、工学のところでございますが、委員会の方で、工業と情報の両方の学科がある学校ということがイメージできる学科名が良いというところがございますので、工業と情報、全部の学科に工学を付けるのはどうかということもございましたが、工業学科の方は全て工学で揃えることで、その学びが中学生にも伝わって分かりやすくなるというところが、工学と付けさせていただいた理由です。あとは情報サイエンス科ですね、情報サイエンスの方も、こちらも様々な御意見をいただいて、まず情報というのが分かるというのが大前提かと思っております。情報サイエンス科の方は、情報教育の学びはもちろんですが、コンピュータサイエンスだとかデータサイエンスの学びも重要だという御意見もいただいて、そういった学びにサイエンスという表現が用いられるということもございましたので、情報とサイエンスを結び付けたというところもござります。中学生にも、情報科の学びが伝わるのではないかとということで、情報サイエンス科と付けさせていただいております。

栗藤委員長 ありがとうございます。皆さんと共通理解が図れた方が良くと思いま

して、事務局から説明する機会を作らせていただきました。今、全体を通してということで、最後の振り返りをしております。度々申し上げているとおり、この第3回の基本計画検討委員会をもって、この計画の案をまとめていきたいと考えておりますので、最後言い残しがないようにしていただければと思います。

栗藤委員長 よろしいでしょうか。それでは、意見が出ませんので、以上をもちまして、協議を終了したいと思います。今回の開催をもちまして、当初予定しておりました3回の委員会が終了したことになります。本日、御検討いただきました、大宮工業・浦和工業新校（仮称）基本計画（案）につきましては、この後開催が予定されている第3回新校準備委員会での御意見も踏まえまして、作成を進めてまいります。一部、山口委員から御指摘いただいた部分につきましては、事務局の方で検討させていただきまして、最終的には責任校正ということで、やらせていただければと思います。皆さんには、この委員会への出席はもとより、骨子案の検討や議事録の確認など、お忙しい中、様々な面で御対応いただき、本当にありがとうございました。学校の先生方におかれましては、先ほども話題になりましたが、この後、新校開設委員会という、来年度立ち上がるもう一つの委員会の中で、教育課程、その他様々な細かいところを検討していただくことになります。当課の主任管理主事を兼務するそれぞれの教頭先生を中心に、そういった作業も入っていきますので、引き続き、御協力をお願いしたいと思います。ありがとうございました。